

# 関西福島県人会だより

発行：関西福島県人会事務局

## INDEX

令和5年度「郷土訪問旅行」	1~3
高田川部屋千秋楽打ち上げ	3
同好会情報	4
関西福島県人会イベント情報	4
関西福島県人会入会案内	4



## 令和5年度「福島郷土訪問旅行」

関西福島県人会専務理事 かまた せいしろう 鎌田 誠四郎

5月8日～10日（二泊三日）の行程で実施されました。参加者は16名です。

8日（月）：伊丹空港 11:50 発で福島空港に 13:00 に無事到着。以降雑筆ながら旅行案内致します。

（13:40～）須賀川市大桑原つつじ園へ、約2万坪の園内にツツジ3000株シャクナゲ2000株5万本の花々が丘一面パノラマに咲き競い圧巻でした。

現在最も古いもので3百年を超える古木も有り一度は来園鑑賞をお薦めします。

（16:00～）福島県庁へ知事表敬訪問。2階会議室へ案内いただき16名着席5分後、内堀知事が入室されました。知事は開口一番私達に「おかえりなさい」と温かく歓迎の言葉を発せられ、県民に対し誠実な知事の人柄に感銘致しました。意見交換など、知事より福島県の夢ある未来挑戦に「共働」協力を県人会へ期待されて、お別れしました。



（17:10～）飯坂温泉自然に囲まれた数寄屋造りの「摺上亭大鳥」へ到着。部屋割り後各自お部屋へ、先ずは大浴場へ。19時に夕食会場へ大阪事務所のOB職員5名と合流し食事会となった。ご馳走を頂きながらお酒も差しつさされつ旧交を温めた。22時更に1部屋に集合雑談、酒盛りなど24時過ぎにお開きお布団の中へと「おやすみなさい・・・。」

9日（火）：飯坂温泉 9:00 出発（お天気快晴）

（10:20～）野口英世記念館、入場。世界を駆け抜けた医学者野口英世の人生全てを現地学芸員の丁寧な説明と案内を頂き、改めて会津が生んだ世界の偉人野口英世を尊敬いたしました。

生家も保存されていて火傷した囲炉裏端や寝床など当時の生き様が偲ばれました。英世の努力は私達の100倍？ 英世の言葉に「一番肝心なのは諦めないということだ、どん底だからこそ、はい上がるんだ。」

余談ですが英世の絶頂期の年収は3800万円とか、1900年頃ですので、現在に換算すると？何十億円ですかね。





(12:30～) 大内宿へ到着。昔ながらの佇まいを残しながら、民宿、土産屋、食堂など中央通りの両側に50軒以上並んでいる。まずはネギそば昼食に挑戦した、ねぎの長さ30cm、太さ15～20ミリ位かな。

皆さま頑張っていましたねー。

私は完食しました。

食後通りをブラブラ、連休明けのせいか観光客も少なく静かに散策出来ました。



(14:40～) 東北最古の歴史ある会津本郷焼「宗像窯」の見学です。享保4年創業東北最古の登り窯を有する老舗窯元、会津郷土料理[ニシンの山椒漬]を作る専用の「にしん鉢」など日用品から美術品まで創作されている。現地登り窯を視察、製作工程など説明を頂きました。八代目当主のロクロでの創作実演、お手の中でまるで生きてる物の如く製品が完成されていく伝統の技を拝見し感動でした。その後「ニシンの山

椒漬け」とお茶をご馳走になり誠にありがとうございました。

(17:30～) 母畑温泉八幡屋へ到着。自然に囲まれた宿全体の佇まいと館内諸設備に驚きました。さすがプロが選ぶ日本のホテル、旅館100選中総合評価第2位に相応しい充実した内容でした。八幡屋は2泊3日の滞在でゆったり楽しみたいな・・・。

10日(水): 八幡屋9:00出発～晴天下、女将さん以下30名以上のお見送り頂きました。

(11:00～) 双葉町にある「東日本大震災・原子力災害伝承館」へ到着。当館は2020年9月に開館されました。複合災害(地震、津波、原発事故)の記録や教訓、復興に向けた歩みを後世に継承発信し共有する施設です。最初に案内された場所は1階で事故当時の映像「福島の経験と教訓の未来への継承」のメッセージを来館者へ伝え共有する内容でした。それから館内案内者に従い順次展示会場を視察した(1. 災害の始まり 2. 原発事故直後の対応 3. 県民の思い 4. 長期化する原発の影響 5. 復興への挑戦)

福島県の災害復興の歩みに「待った無し」 私達も出来ることから応援しようと、心より誓った。





(12:10～) いこいの村浪江にて、昼食。

(13:00～) 震災遺構 請戸小学校視察へ。2011年3月11日14:46大震災発生～津波が小学校2階床上10cmまで、「請戸小学校は日頃から災害避難対策は実施され、児童職員は的確な判断で全員無事に避難できた」との事。

被災校舎の現状を目の当たりにして改めて津波災害の恐ろしさに身震いした。2～30年以内に日本全土に災害あり・・・各人対策忘れまじ。伝承館、請戸小学校は全国の小中学校の修学旅行の見学コースにも含まれてるとの事です。



(16:00～) 福島空港到着。(17:30～) 楽しかった3日間の思い出と共に伊丹空港へ

(19:00～) 伊丹空港到着。参加者全員無事確認し各自家路についた。

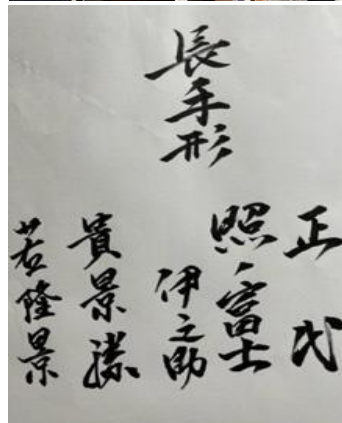
終わりに、今回の企画案内、現地での諸手続きなど大塚さん、事務局長藤田さん、宗像さんそれから、旅先での各位様に参加者一同大変お世話になりました。感謝申し上げます。

### 高田川部屋千秋楽打ち上げ

関西福島県人会常任理事 <sup>ありが えつこ</sup> 有賀 悦子

高田川克己(元関協 安芸乃島)親方、力士幕内 竜電・輝、十両 湘南乃海・白鷹山、幕下 5名、三段目5名、序二段5名他お世話役・床山さん、そして、県人会会長と親しくお付き合いしていらっしゃる第41代立行司式守伊之助さんご夫妻、一般参加者等総勢約230人。

十数年前主人が元気だった頃、大阪場所必ず升席で観てました。でもこんなに身近にお話し、写真を撮りサインを頂くのは初めてでした。伊之助さんと会長「身長・体重も一緒顔も似ているでしょう」(笑)親方、力士も各テーブルを周りご挨拶。田崎会長お誘い頂きありがとうございました。



お楽しみ抽選会 180番左記の長手形当たりました。  
長い巻き紙で掲載するにはスペース足りません、封筒の表題のみ…来場所楽しみです。サイン用筆ペン持って行きます。

**同好会情報****一緒に楽しみましょう！****けやき会(ゴルフ同好会)**

自然豊かな郊外、澄み切った青空の下で頭や体を使いクラブを振り、楽しい食事や会話で心身ともにリフレッシュしませんか。

連絡先 斎藤  
電話 090-4034-1662

**しゃくなげ会(麻雀同好会)**

近年では頭の体操で認知症予防にも役立っていると好評です。脳内神経研ぎ澄まし、ポン・チー・カン・ローンとゲームを楽しみませんか。

連絡先 鎌田  
電話 072-871-3246

**きびたん会(カラオケ同好会)**

健康長寿の源の一つに「歌ありき」、福島先輩古関裕而メロデー「高原列車は行く」、「栄冠は君に輝く」、「六甲おろし」等々大きな声で元気よく合唱しませんか。

連絡先 鎌田  
電話 072-871-3246

**関西うつくしま旅倶楽部(旅の同好会)**

ゆったりとした行程で近隣の一泊二日の旅や、二泊三日で福島訪問の旅を企画致します。会員の皆様のご希望や旅情報など、是非ともご一報お待ちしております。

連絡先 大塚(福島交通)  
電話 06-6459-3003

**散楽遊 友の会(健康ウオーク同好会)**

近隣の名所旧跡や郊外、市街地、歓楽街など又、皆様のお住まいの地域など会員皆様の情報を共有して「散策を楽しむ遊ぶ」。例えば大阪中之島公園、大阪城公園ウオーク等々。ご希望地など一緒に歩きませんか。

連絡先 鎌田  
電話 072-871-3246

**関西福島県人会イベント情報**

	イベント名	場所	開催情報
1	芋煮会	高石市	11月11日
2	全国高等学校駅伝競走大会 激励会・応援	京都市	12月予定
3	全国高等学校ラグビーフットボール大会 激励会・応援	東大阪市	12月予定
4	全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 激励会・応援	京都市	1月予定
5	関西福島県人会総会	大阪市	2月予定

※ イベントの中止等により計画が変更となる場合がございます。

**入会案内**

関西福島県人会 会員 募集中！

## ○入会資格

福島県出身の方・縁故のある方  
福島県に“想い”のある方

## ○年会費

3,000円

## ○主な活動内容

- ・大阪や京都を中心に実施する各種イベントでの県産品販売等による福島の魅力発信
- ・各種スポーツ全国大会における県選手団の激励
- ・会員とその家族の親睦を図る家族会
- ・役員と新入会員の懇談会、年に1回の芋煮会
- ・県人会だよりの発行（年に3回目安）

## ○ご連絡先

関西福島県人会事務局（福島県大阪事務所内）

TEL：06-6343-1721

FAX：06-6343-1727

E-mail：[kansai\\_kenjinkai@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kansai_kenjinkai@pref.fukushima.lg.jp)

※ 現在、ホームページの申込フォームに不具合が生じており、お申し込み内容を確認することができません。

お手数ではございますが、事務局まで電話、FAX、メールのいずれかの方法でご連絡願います。

申込用紙を送付させていただきます。

なお、事務所内にも申込用紙をご用意しておりますので、お気軽にお声かけください。

**「関西福島県人会だより」について**

「関西福島県人会だより」は、新型コロナウイルス感染拡大によるイベントの自粛等、活動の制限を余儀なくされている中で、会員の皆様の間での情報共有を図る目的で、令和2年9月から新たに発行しているものです。年3回（1月、3月、10月）を目安に発行し、皆さまへ情報をお届けします。